

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

2020年10月30日

 大同特殊鋼株式会社

 DAIDO STEEL CO. LTD.

DAIDO STEEL GROUP
Beyond the Special

<目次>

2021年3月期第2四半期決算(2020年4月~9月)	p.1	20年度 営業利益の変化要因 (前年度比)	17
20年4-9月期決算の概要	2	セグメント別売上高・営業利益 (前年度差)	18
売上高・営業利益推移 (20年度第2四半期実績)	3	20年度通期 連結業績見通し (半期別)	19
20/4~9 営業利益の変化要因 (前年同期対比)	4	セグメント別売上高・営業利益 (半期別・上下差)	20
コスト圧縮	5	20年度 経常利益・当期純利益について	21
主要製品19年度概況①	6	配当について	22
主要製品19年度概況②	7	総資産、有利子負債、D/Eレシオ	23
セグメント別売上高・営業利益 (前年同期差)	8	キャッシュ・フロー	24
20/4~9 主要セグメント営業利益変化 (前年同期比)	9	設備投資	25
20/4~9 経常利益・当期純利益について	10	ESGの取組み	26
2021年度3月期通期見通し	11	Fact Book	27-29
経営環境認識	12		
主要市場の動向<自動車関連需要>	13		
20年度 利益計画の前提 (市況)	14		
原料市況 (鉄スクラップ・ニッケル)	15		
20年度通期 連結業績見通し	16		

 DAIDO STEEL CO. LTD.

DAIDO STEEL GROUP
Beyond the Special

2021年3月期 第2四半期決算 (2020年4月～9月)

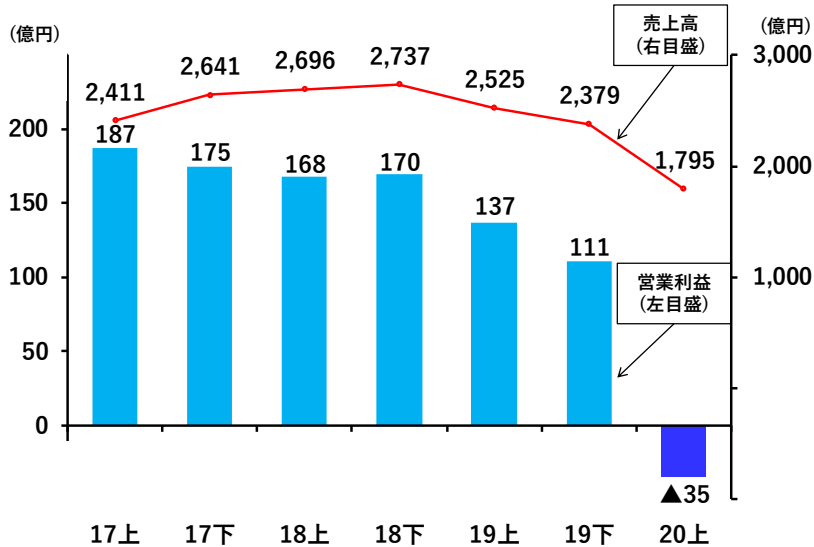
■ 20年4-9月期 決算の概要

(億円)	19年度 4-9月期	20年度 4-9月期	前年同期比
売上高	2,525	1,795	-730
営業利益	137	▲35	-172
経常利益	137	▲21	-158
当期利益 ^(※)	113	▲23	-136

※：親会社株主に帰属する当期純利益

➤ 新型コロナウイルスの影響を受け、主要需要先である自動車関連を中心に需要が低迷。4-6月期を底に回復基調も前年同期比では減収減益。

■ 売上高・営業利益推移(20年度第2四半期実績)

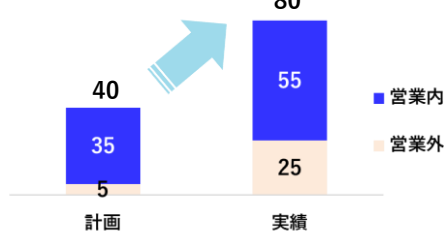


■ 20/4~9営業利益の変化要因 (前年同期対比)

		(億円)		
19/4-9 営業利益		137		変化内訳 原燃料市況 ・鉄屑/合金/エネルギー全ての項目でコストは下落 数量変化 ・自動車関連需要を中心に大幅減。4-6月期を底に受注は回復傾向 価格変化 ・鉄屑/合金サーチャージによりマイナス ・スライドギャップ影響は△9 内容差他 ・半導体関連回復も工具鋼/自由鍛造品で数量減 固定費 ・減価償却費などの悪化要因あるも、経費予算など徹底的な削減実施 (営業外)雇用調整助成金制度の最大活用
前年同期対比変化	原燃料市況		+108	
	数量変化	-180		
	価格変化	-73		
	内容差他	-55		
	変動費	-18		
	固定費		+46	
合計	-326	+154		
20/4-9 営業利益		▲35 (-172)		

■ コスト圧縮

コスト圧縮額(億円)



固定費にて圧縮額を上乗せ

- 営業内
経費予算を徹底的に削減
- 営業外
雇用調整助成金制度の最大活用

《コスト圧縮施策》

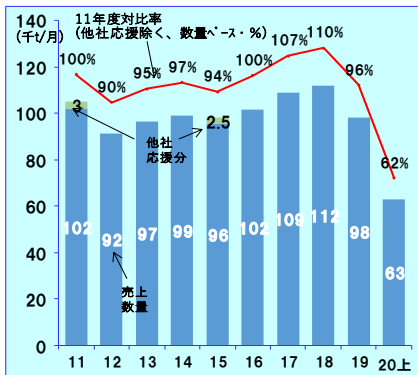
- | | | |
|-----|--------|-------------------------|
| 固定費 | 労務費削減 | ・雇用調整助成金制度の活用（営業外） |
| | | ・残業抑制 ・役員報酬/管理職給与の一部カット |
| | 経費予算削減 | ・補修費/間接部門経費をゼロベースで見直し |
| 変動費 | 効率生産 | 集中休転,設備集約等のメリハリ操業 |
| | 原価低減 | 戦略投資の早期効果発現、外注作業の内製化等 |

■ 主要製品 20年度概況①

特殊鋼鋼材

<需要環境>

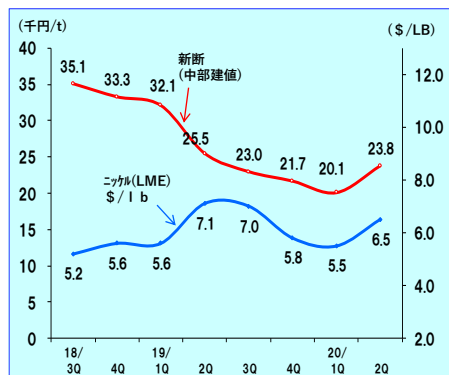
鋼材売上数量(単体)



▶新型コロナウイルスの影響により、自動車を中心に需要大幅減。第1四半期を底に回復基調も、本格回復は下期より

<原材料市況>

鉄スクラップおよびニッケル価格推移

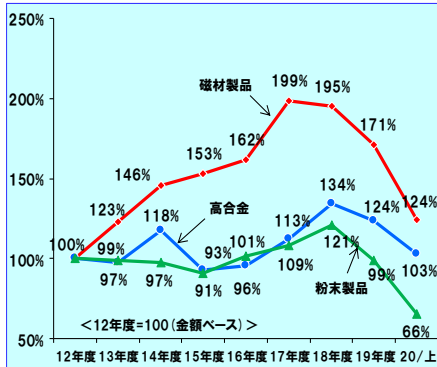


▶スクラップ：国内発生減、海外市況上昇により価格は上昇基調
▶ニッケル：5～7\$/lbのレンジで推移

■ 主要製品 20年度概況②

機能材料・磁性材料

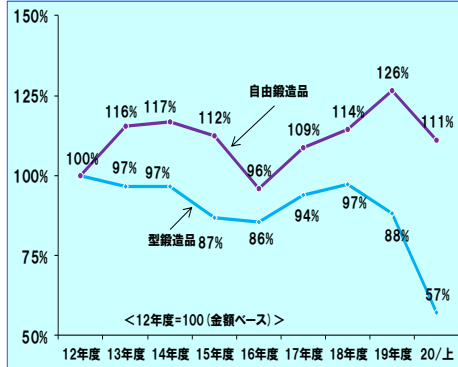
< 高合金・磁材製品・粉末製品 >



- 磁材製品：国内外の自動車需要が減速
- 粉末製品：海外向け減少継続
- 高合金：5G 堅調も自動車向けで調整

自動車部品・産業機械部品

< 型鍛造品・自由鍛造品 >



- 自由鍛造品：半導体回復も航空機需要減
- 型鍛造品：自動車回復基調もトラック需要低調

■ セグメント別売上高・営業利益(前年同期差)

(億円)

		19/4-9 実績 (A)	20/4-9 実績 (B)	前年度差 (B)-(A)
特殊鋼鋼材	売上高	971	598	-373
	営業利益	32	▲ 30	-62
機能材料・磁性材料	売上高	847	648	-199
	営業利益	70	22	-48
自動車部品・産業機械部品	売上高	499	361	-138
	営業利益	6	▲ 41	-47
エンジニアリング	売上高	124	103	-21
	営業利益	15	5	-10
流通・サービス	売上高	84	85	1
	営業利益	14	9	-5
合計	売上高	2,525	1,795	-730
	営業利益	137	▲ 35	-172

鋼材売上数量(単体)

625千t 378千t -247千t

20/4～9 主要セグメント営業利益変化(前年同期比)

(億円)

セグメント		特殊鋼鋼材	機能材料 磁性材料	自動車部品・ 産業機械部品	エンジニア リンク
19/4-9営業利益		32	70	6	15
前年同期対比変化	営業損益	原燃料市況	+79	+19	+10
		数量変化	-61	-68	-51
		価格変化	-66	-5	-2
		内容差他	-39	+8	-9
		変動費	-10	-6	-2
		固定費	+35	+4	+7
		合計	-176	+114	-79
20/4-9営業利益		▲30 (-62)	22 (-48)	▲41 (-47)	5 (-10)

半導体需要回復により内容構成良化

20/4～9 経常利益・当期純利益について

(億円)

営業利益	▲35
営業外収益・費用	14
経常利益	▲21
特別損益	0
法人税等 (※)	▲2
当期純利益 <small>(親会社株主に帰属する四半期純利益)</small>	▲23

(※) 法人税・
法人税等調整額(含む税効果)・
非支配株主に帰属する当期純利益

2021年3月期 通期見通し

■ 経営環境認識

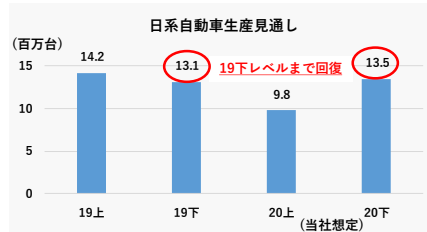
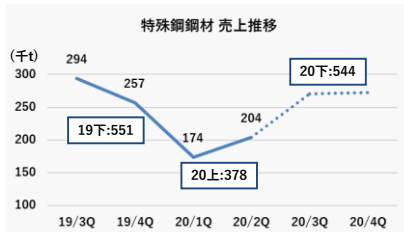
20年度下期における経営環境認識

自動車生産の回復
特殊鋼鋼材数量増

半導体関連：堅調
航空機関連：低位

事業リスク

- コロナウイルス長期化
- 米中貿易摩擦
- 原材料価格上昇

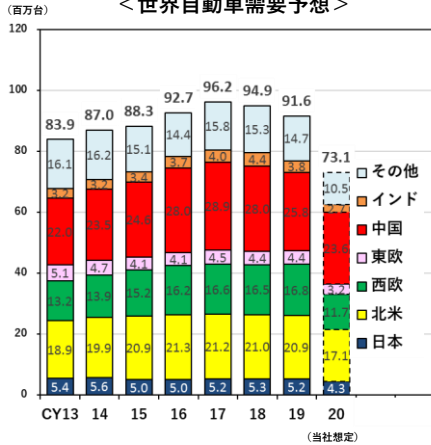


《コロナウイルスの感染防止に努めるとともに、下記施策を上期より継続》

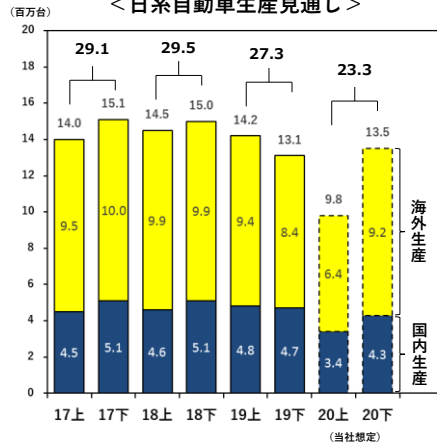
- ・ 生産体制・棚卸資産の最適化
- ・ 固定費の削減を中心としたコストミニマム生産の追求
- ・ メタルプレッドの維持、確保

■ 主要市場の動向 <自動車関連需要>

<世界自動車需要予想>



<日系自動車生産見通し>

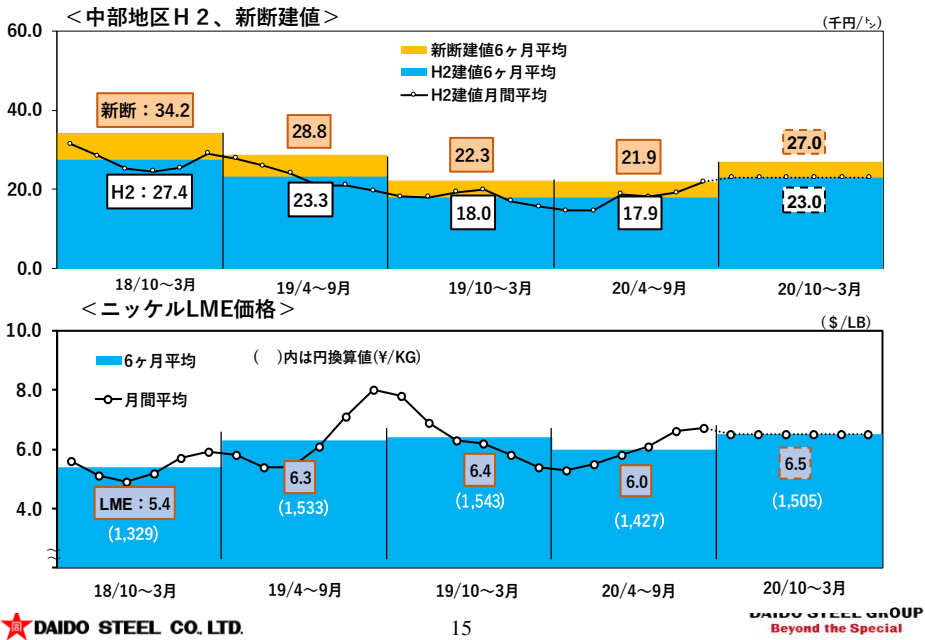


- > 世界需要：コロナ影響を受け各国・地域にて前年比マイナス
- > 日系生産：下期は生産回復の見通しも、年度では前年比マイナス

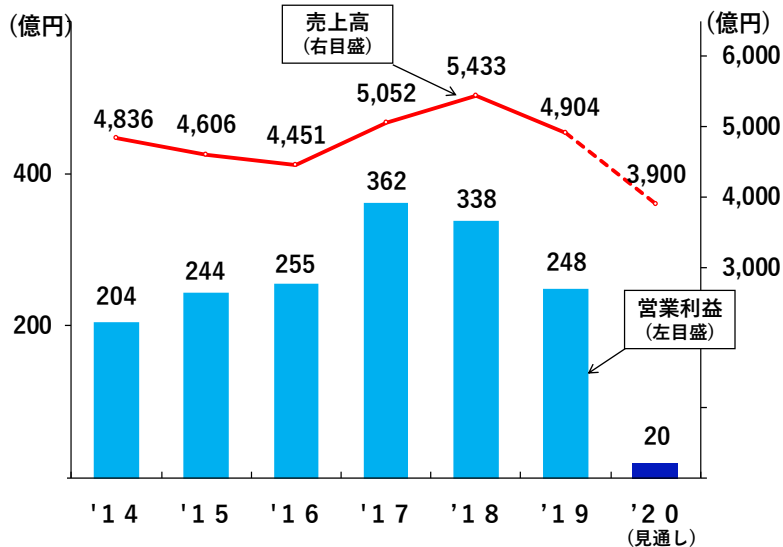
■ 20年度 利益計画の前提(市況)

	単位	20/4-9実績 (前提差)	20/10-3計画前提 (20/4-9差)
鉄スクラップ 上段：中部H2建値 下段：中部新断建値	千円/t	17.9 (+0.1)	23.0 (+5.1)
		21.9 (+0.1)	27.0 (+5.1)
ニッケル (LME)	\$/LB	6.0 (+0.2)	6.5 (+0.5)
原油 (ドバイ)	\$/B	38.3 (+1.4)	40.0 (+1.7)
為替レート (TTM)	円/\$	107.9 (-0.9)	105.0 (-2.9)

原料市況(鉄スクラップ・ニッケル)



20年度通期 連結業績見通し



20年度 営業利益の変化要因(前年度比)

(億円)

19年度 営業利益		248		変化内訳 原燃料市況 ・合金、資材/エネルギー中心に良化 数量変化 ・下期の特殊鋼鋼材数量は、前年同期比レベルまで回復。SUSは4Qから本格的に回復。 価格変化 ・鉄屑/合金サーチャージによりマイナス ・スライドギャップ影響は△30 (上期△9、下期△21) 内容差他 ・半導体堅調も工具鋼でマイナス ・退職給付債務計算の見直し影響△15 固定費 ・上期に引き続き圧縮施策継続
前年度対比変化	原燃料市況		+152	
	数量変化	-223		
	価格変化	-115		
	内容差他	-98		
	変動費	-16		
	固定費		+72	
	合計	-452	+224	
20年度 営業利益		20 (-228)		

セグメント別売上高・営業利益(前年度差)

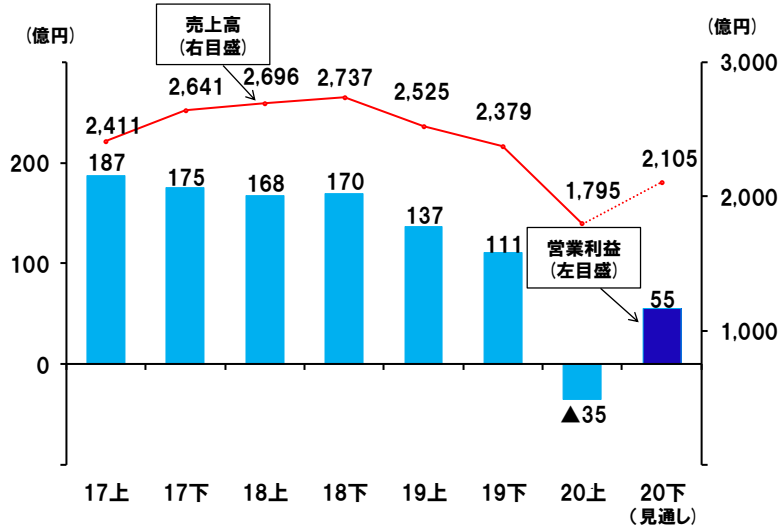
(億円)

		19年度 実績 (A)	20年度 見通し (B)	前年度差 (B)-(A)
特殊鋼鋼材	売上高	1,817	1,350	-467
	営業利益	52	▲45	-97
機能材料・磁性材料	売上高	1,674	1,420	-254
	営業利益	136	87	-49
自動車部品・ 産業機械部品	売上高	973	790	-183
	営業利益	4	▲41	-45
エンジニアリング	売上高	266	200	-66
	営業利益	30	5	-25
流通・サービス	売上高	174	140	-34
	営業利益	26	14	-12
合計	売上高	4,904	3,900	-1,004
	営業利益	248	20	-228

鋼材売上数量(単体)

1,176千t 922千t -254千t

20年度通期 連結業績見通し（半期別）



セグメント別売上高・営業利益(半期別・上下差)

		(億円)			
		4-9 実績 (A)	10-3 見通し (B)	20年度 見通し (A)+(B)	20年度 上下差 (B)-(A)
特殊鋼鋼材	売上高	598	752	1,350	154
	営業利益	▲30	▲15	▲45	15
機能材料・磁性材料	売上高	648	772	1,420	124
	営業利益	22	65	87	43
自動車部品・ 産業機械部品	売上高	361	429	790	68
	営業利益	▲41	0	▲41	41
エンジニアリング	売上高	103	97	200	-6
	営業利益	5	0	5	-5
流通・サービス	売上高	85	55	140	-30
	営業利益	9	5	14	-4
合計	売上高	1,795	2,105	3,900	310
	営業利益	▲35	55	20	90

鋼材売上数量(単体) 378千t 544千t 922千t 166千t

特殊鋼鋼材：鉄スクラップ価格上昇も、売上数量の回復、エネルギーコストの下落により損益改善。退職給付債務計算の見直し影響(▲15)を除くと下期損益はゼロ。

機能材料：SUSを中心とした数量回復により増益。半導体需要は上期並の前提。

自動車部品：自由鍛造品は低調も、その他製品の数量回復により下期損益はゼロの見通し。

■ 20年度 経常利益・当期純利益について

(億円)

営業利益	20
営業外収益・費用	15
経常利益	35
特別損益	0
法人税等 (※)	▲30
当期純利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	5

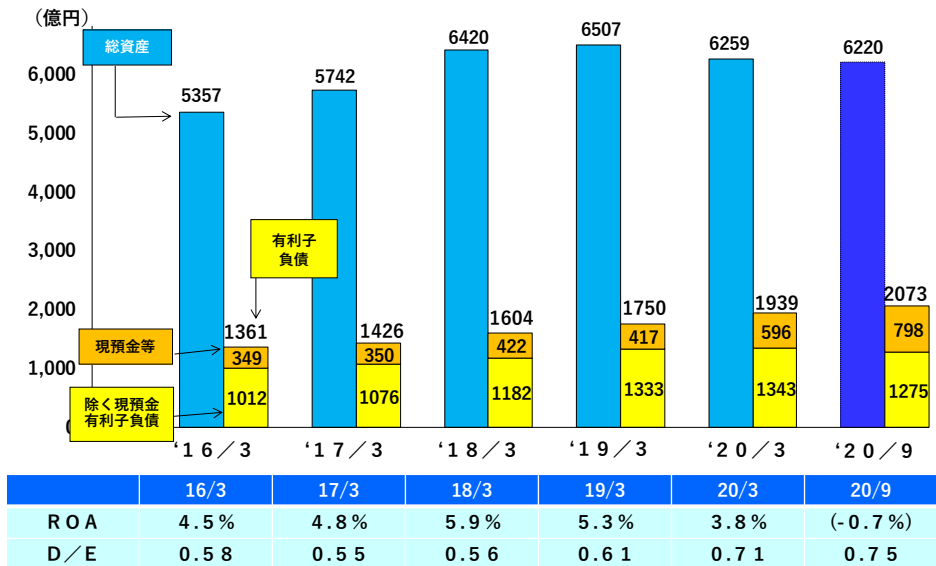
(※) 法人税・
法人税等調整額(含む税効果)・
非支配株主に帰属する当期純利益

■ 配当について

	19年度		20年度(見通し)	
	中間期	通 期	中間期	通 期
経常利益 (億円)	137	243	▲21	35
当期純利益 ※(億円) <small>※ 親会社株主に帰属する当期純利益</small>	113	110	▲23	5
配当 (円/株)	55.0	70.0 (期末15.0)	10.0	20.0 (期末10.0)
配当性向 (%)	20.8	27.2	—	170.5

・ 安定的な配当の実施、及び下期からの損益回復を鑑み、中間期で
10円/株の配当を実施。通期では20円/株の配当を予定。

■ 総資産、有利子負債、D/Eレシオ



■ キャッシュ・フロー

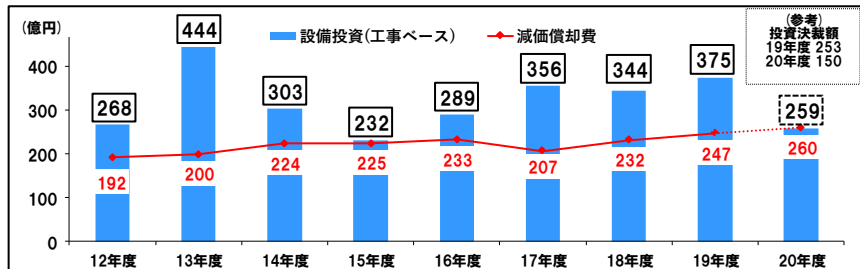
- 20年度上期は収益赤字であったが運転資金の縮減によりフリーキャッシュフローは78億円のプラス。
- 20年度下期は需要回復局面となり、運転資金の増加によるキャッシュフロー悪化が見込まれるが、資産(棚卸等)の増加抑制を志向することで、通期のフリーキャッシュフローは20億円のプラスを見込む。

		20/4-9 実績	20/10-3 見通	通期 見通	(参考) 20年9月末 貸借対照表 (億円)											
営業 C/F	経常利益	-21	56	35	科目	20/3	20/9	増減								
	減価償却費	128	132	260	流動資産	3106	2967	-139	負債	3168	3099	-69				
	運転 資金 増減	売掛金	246	-190	56	現金	596	798	202	営業債務	668	477	-191			
		買掛金	-191	150	-41	営業債権	1183	937	-246	有利子負債	1939	2073	134			
		棚卸資産	106	0	106	棚卸資産	1272	1166	-106	その他	561	549	-12			
			161	-40	121	その他	55	66	11	固定資産	3153	3253	100	純資産	3091	3121
税金他	-35	-50	-85	有形固定 資産	2375	2380	5	株主資本	2761	2730	-31					
	233	98	331	無形固定 資産	16	22	6	その他包括 利益累計額	-25	39	64					
投資 C/F	設備投資	-149	-150	-299	投資その他 資産	762	851	89	非支配株主 持分	355	352	-3				
	その他	-6	-6	-12	資産合計	6259	6220	-39	資産合計	6259	6220	-39				
		-155	-156	-311	フリーキャッシュフロー				78	-58	20					

■ 設備投資

- 20年度の設備投資については対象を厳選、減価償却費を大幅に下回る金額での意思決定とする。
(20年度決裁額予定：150億円、期初計画から変更なし)
- 昨年度までに実施した戦略投資の刈り取りへ注力する。

設備投資・減価償却費推移



■ ESGの取組み



- 「CSR報告書」に代えて「サステナビリティレポート」を発行(2020年11月発行予定)
- コンテンツを増やし、より長期視点でESGへの取組を報告

<主な内容>

- ・大同特殊鋼グループの概要
- ・104年の成長を支えるものづくりの力
- ・SDGsへの取組とマテリアリティの特定
- ・財務・非財務情報ハイライト 等

CO₂削減プロジェクト(2020年11月1日発足)

- 2050年に向けた長期戦略的削減目標と行動計画の策定を目的に全社プロジェクトとして発足。
- 以下の課題に取り組み、CO₂排出量削減に挑戦していく。
 - ① 継続的省エネ技術開発
 - ② 再生可能エネルギーの積極活用
 - ③ CO₂フリー水素の有効活用

Fact Book

Fact Book 業績のハイライト

連結						(百万円)					
	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	15/9	16/9	17/9	18/9	19/9	20/9
売上高	460,577	445,122	505,219	543,255	490,421	233,832	213,010	241,119	269,643	252,476	179,490
営業利益	24,432	25,513	36,218	33,815	24,768	10,757	9,643	18,726	16,752	13,711	▲3,531
経常利益	25,108	26,373	36,130	34,343	24,298	11,431	9,023	18,320	17,569	13,711	▲2,112
当期純利益	6,746	16,386	23,920	21,182	10,987	2,037	5,363	11,890	10,759	11,257	▲2,318
研究開発費	5,766	6,206	5,419	5,638	6,002	2,716	3,158	2,770	2,788	2,896	2,185
設備投資額(計画)	28,300	32,800	38,600	37,200	25,300	16,100	15,800	20,300	18,800	15,100	7,500
設備投資額(工事)	23,205	28,940	35,605	34,413	37,529	9,241	15,791	14,899	15,027	22,092	13,955
減価償却費	22,454	23,275	20,740	23,171	24,662	11,039	11,087	10,023	11,453	12,022	12,794
金融収支	949	904	995	1,606	1,297	541	422	429	584	656	459
総資産	535,675	574,169	642,021	650,697	625,899	567,439	523,304	614,828	661,998	651,112	621,997
自己資本	232,832	259,851	284,435	285,508	273,561	250,255	231,600	274,221	291,948	293,276	276,815
有利子負債	136,114	142,599	160,352	174,998	193,881	146,461	133,172	157,201	174,928	185,536	207,302
従業員数(人)	11,040	11,498	11,873	12,421	13,436	11,126	11,574	11,843	12,559	13,775	13,474
ROA(%)	4.5	4.8	5.9	5.3	3.8	4.0	3.4	6.2	5.4	4.2	▲0.7
ROE(%)	2.8	6.7	8.8	7.4	3.9	1.6	4.6	8.9	7.5	7.8	▲1.7
連結子会社数	36	34	36	38	65	35	35	36	38	65	68
(持分法適用会社外数)	(6)	(6)	(6)	(6)	(9)	(6)	(6)	(6)	(6)	(9)	(9)
連単倍率(倍)											
売上高	1.6	1.7	1.6	1.6	1.6						
経常利益	1.6	1.5	1.7	1.4	1.2						
当期利益	1.2	1.1	1.6	1.3	1.0						

* 減価償却費は長期前払費用含まず。当期純利益は15年度以降、親会社株主に帰属する当期純利益

Fact Book セグメント別売上高・営業利益

連結

		＜新セグメント(12年4月～)＞				
		(億円)				
		16/3	17/3	18/3	19/3	20/3
特殊鋼鋼材	売上高	1,705	1,631	1,868	2,078	1,817
	営業利益	75	58	65	60	52
機能材料・磁性材料	売上高	1,553	1,485	1,708	1,846	1,674
	営業利益	123	174	222	207	136
自動車部品・産業機械部品	売上高	997	975	1,063	1,099	973
	営業利益	13	▲5	30	23	4
エンジニアリング	売上高	261	239	249	275	266
	営業利益	21	12	18	23	30
流通・サービス	売上高	90	121	164	135	174
	営業利益	12	16	27	25	26
合計	売上高	4,606	4,451	5,052	5,433	4,904
	営業利益	244	255	362	338	248

		(億円)										
		15/4-9	15/10-3	16/4-9	16/10-3	17/4-9	17/10-3	18/4-9	18/10-3	19/4-9	19/10-3	20/4-9
特殊鋼鋼材	売上高	859	846	780	851	903	965	1,020	1,058	971	846	598
	営業利益	21	54	26	32	48	17	21	39	32	20	▲30
機能材料・磁性材料	売上高	807	746	711	774	811	897	927	919	847	827	648
	営業利益	63	60	75	99	108	114	114	93	70	66	22
自動車部品・産業機械部品	売上高	494	503	467	508	517	546	554	545	499	474	361
	営業利益	8	5	▲16	11	11	19	11	12	6	▲2	▲41
エンジニアリング	売上高	132	129	115	124	105	144	126	149	124	142	103
	営業利益	10	11	3	9	7	11	8	15	15	15	5
流通・サービス	売上高	46	44	57	64	75	89	69	66	84	90	85
	営業利益	6	6	8	8	13	14	14	11	14	12	9
合計	売上高	2,338	2,268	2,130	2,321	2,411	2,641	2,696	2,737	2,525	2,379	1,795
	営業利益	108	136	96	159	187	175	168	170	137	111	▲35

(注記)

本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。

今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。